

かんまき 議会だより

第88号
平成26年5月1日号



クラブ活動へ 二中正門前にて

TOPICS

26年度予算	2~4
3月定例会	5・6
議決結果	7
一般質問	8~11
議会基本条例	11
視察報告・議会日誌	12

平成26年度の各会計予算を可決

平成26年度の一般会計、国民健康保険、後期高齢者医療、介護保険、住宅新築資金等貸付事業、下水道事業、水道事業の予算7議案については、3月19日の本会議で、予算特別委員長報告のとおり可決されました。

一般会計

71億3,594万円

入るお金	25億9,700万円	地方交付税	予算概要	民生費	17億6,346万円	使うお金
	21億2,761万6千円	町税		公債費	15億259万4千円	
	7億8,795万5千円	国庫支出金		総務費	10億1,806万8千円	
	5億2,725万3千円	町債		衛生費	7億2,734万8千円	
	4億4,319万8千円	県支出金		教育費	6億7,197万6千円	
	1億8,887万5千円	使用料及び手数料		諸支出金	5億1,903万7千円	
	1億8,734万8千円	地方消費税交付金		土木費	4億5,308万2千円	
	7,784万8千円	分担金及び負担金		消防費	3億2,759万3千円	
	5,894万9千円	繰入金		議会費	1億1,016万3千円	
	4,928万円	地方譲与税		農林商工業費	3,761万5千円	
3,084万9千円	諸収入	予備費	500万円			
5,976万9千円	その他※	災害復旧費	4千円			

※その他は、
 利子割交付金・配当割交付金・
 株式等譲渡所得割交付金・自
 動車取得税交付金・地方特別
 交付金・交通安全対策特別交
 付金・財産収入・寄附金・繰
 越金

特別会計

51億7,270万円

国民健康保険	28億2,220万円
後期高齢者医療	2億6,951万3千円
介護保険(保険事業勘定)	14億461万2千円
介護保険(介護サービス勘定)	1,000万7千円
住宅新築資金等貸付事業	415万2千円
下水道事業	6億6,221万6千円

企業会計

5億7,559万円

水道事業 (収益的収入)	5億7,559万円
-----------------	-----------

予算特別委員長報告

平成26年度の各会計予算は 全会一致で可決

予算特別委員会（堀内、長岡、辻、康村、木内、東の6名）は、3月7、10、11日の3日間開催しました。付託された平成26年度の各会計予算7議案について慎重審議の結果、全委員異議なく原案通り可決されました。

一般会計予算は平時に戻る

歳入・歳出ともに総額で71億3,594万円と25年度に比べ37億円余の減額となりました。主な要因は、土地開発公社の解散に伴う第三セクター等改革推進債42億円借入れの減額によるものです。

町民一人当たりの予算額は、29万5,936円と前年度に比べ35.2%の減額となりました。歳出の性質別内訳では、普通建設事業費81.5%、公債費12.7%、物件費11.8%、人件費3.6%、扶助費3.2%とそれぞれ増加となりました。他方で土地開発公

社解散手続きが終わったことで補助費等が84.4%減額となりました。

一般会計予算の主な質疑

上牧町の現状認識について質疑があり、町長から「アピタの開店以来、アピタ周辺に店舗出店の計画があり、五軒屋地区では家具屋、回転ずし、コンビニなどが開店している。また、住宅の売れ行きも順調との話を業者から聞き及んでいる」との答弁がありました。

歳入71億3,594万円

町民税の増額（9,116万円）について「固定資産税は大型店舗他の新店舗の増額（6,971万円）、たばこ税は県からの税源移譲等に伴う増額（2,290万円）」との答弁：

住宅使用料・駐車場使用料については「町営住宅家賃滞納に対する整理要領を作成し、家賃滞納整理の強化を図って行く。

駐車場使用料についても同様の取り組みを行う」との答弁がありました。

乳幼児医療費助成を拡大

事業別の主な歳出は、議会のインターネット中継（312万円）とタブレット端末導入（312万円）、特別職給与管理職手当削減の戻し分（1,574万円）、防犯カメラ設置工事（庁舎・保健福祉センター・中央公民館295万円）、臨時福祉給付金・子育て世帯臨時特例給付金（1億259万円）、乳幼児医療費助成（4,355万円）、子宮がん・乳がん無料検診と未受診者アンケート調査（197万円）、廃棄物減量化推進（可燃用20リットルごみ袋ほか1,319万円）、道路整備（8,000万円）、役場下交差点渋滞対策（2,100万円）、バス整備工事（2,700万円）、小規模住宅地区道路改良事業（2,000万円）、上牧中学校耐震化委託料（2,221万円）、久渡古墳群発掘調査（702万円）等です。

このほか、滝川における清らかな水辺の創造計画策定委託料

（129万円）、障害者福祉計画策定委託料（100万円）、子ども・子育て支援計画策定委託料（352万円）が計上されました。

歳出についての主な質疑

▼防災無線デジタル化について、「平成28年にデジタル化を行なう。聞こえにくい問題は解決する。」との答弁がありました。（以下、同じ）

▼庁舎・保健福祉センター・中央公民館への防犯カメラの設置について、「プライバシー問題は十分検討する」。

▼電子計算費の増額について、「番号制度に対応したシステムの改修、住居表示変更に伴うデータ修正等の増である」

▼臨時福祉給付金・子育て世帯臨時特例給付金について、「申請手続きはまず広報で掲載し、振り込め詐欺の注意の広報も併せて行う。6月以降に申請手続きを開始し、漏れ落ちの無いよう啓発をしていく」

▼土地開発公社から取得した土地の売却について、「鑑定価格で公募により売却する」

▼がん検診のクーポン事業につ

いて、「使われなかった未受診者にアンケートを送付し、受診率向上に向け検討する」

▼ごみの焼却処分について、「平成28年度より町のごみ焼却は、民間委託せざるをえないと思われる。香芝市・王寺町との広域化はいまのところ難しい状況にある」

▼道路橋梁費が前年度に比べ1億1,577万円の増となっている要因について、「主な要因は、委託料の橋梁補強設計委託料他で3,360万円、そして工事請負費の道路整備工事やバス停整



アピタ路線でバス停整備2カ所

備工事等の増加により8,200万円の増となった」

▼服部台・明星線道路改良工事について、「事業費として5,000万円を計上し、残りの延長200メートルの事業については、平成30年に完成させる計画で、総予算額4億円を予定」

▼小規模住宅地区道路改良工事について、「用地買収等を行わず、地区内の道路整備だけを行う方針である。平成25年度から29年度までの5ヶ年計画で、総予算額4億4,000万円を予定」

▼上牧幼稚園の園児数について、「26年度入園予定は46名、在籍数は159名となる。ニーズ調査を行い、幼保一元化も検討して行く」

▼防災訓練について、「机上防災訓練を25年度よりも2倍ぐらいの規模で行なう。全町あげての避難訓練は27年度には行ないたいと考えている。職員の召集制度は緊急連絡網があり、それを活用する」

▼職員数について、「新規の一般職採用6名、技術職2名、特別会計から一般会計への異動1名、定年退職者再任用3名で計12名

の増、定年退職者3名、勸奨退職者3名で計6名の減、差し引き6名の増」

■国民健康保険特別会計

国民健康保険税は、26年度より税率改正が行われ、世帯割額が年間1万円の引き下げが行われました。このことについて「税率改正による全体としての影響額は3,344万円と見込んでいる。内訳は一般被保険者2,258万円、退職被保険者132万円、そして保険基盤安定繰入金で953万円の減額と見込んでいる。」との答弁がありました。

■後期高齢者医療特別会計

後期高齢者医療保険料が増額になっていくことについて、「保険料率の改正が行われ、均等割が4万4,200円から4万4,700円への500円増、所得割で8・10%から8・57%への増であり、対象者は106人である。」との答弁がありました。

■介護保険特別会計

「要支援1、2を対象に予防給付から地域支援事業への移行

が平成30年度から実施される。今まではプロの介護職員によるサービスを利用できたが、制度の移行後は地域住民が担い手として高齢者を支援することとなる。地域ボランティアの人材確保はもとより、責任の所在、有償ボランティアの賃金の設定など多くの課題がある。町としては移行までに、しっかりとした体制づくりをされるように求めている。」との意見がありました。

地域包括ケアシステムの構築については「まず第6期の介護保険事業計画のニーズ調査を行う。2025年を見据えた『地域包括ケアシステム』の構築に活かせるニーズ調査にして行く。」との答弁がありました。

■水道事業会計について

貯水タンクの耐震化について、「PCタンク（強化鉄筋コンクリート造り給水池）が地震で倒壊した事例は見受けられないが、万全とは言い難い。奈良県からの水道広域化の話もあり、無駄な投資にならないように慎重に検討を進めたい。」との答弁がありました。

総務建設委員長報告

■特別職の職員の給与等の特例に関する条例を廃止する条例

問 特別職（町長・副町長・教育長）の給与削減は平成17年度から特例として実施されてきた。また管理職手当の削減を戻すことと併せて、予算への影響は約1,600万円。これからの上牧町は再生へ向かうが、町長の所信はどうか。

答 財政健全化団体からの脱却、土地開発公社の解散、子育て支援の取り組み、国民健康保険税の引き下げ等ようやくスタートラインに立てた。奈良県でも広域行政に取り組んでおり、上牧町としてどのように活動してゆくのかがポイントになる。住民の生活が安全で安心できる、上牧町に住んで良かったと思えるまちづくりを進めて行きたい。

■上牧町まちづくり基本条例の制定

問 町長はこの議会の冒頭で「上牧町まちづくり基本条例と昨年制定された議会基本条例を柱として、町政運営に全力で取り

組んで行きたい」と所信表明されたが。

答 わたしの公約の柱は、財政を健全化することと住民の意見を町政に反映させることであった。そのためまちづくり基本条例の制定を目指した。職員もこの条例の趣旨を認識し、これまでのものの考え方はなく、条例に基づいた考え方で行政を行うことが求められる。こうした町政運営がしっかりと根付いて行くように取り組む。

■上牧町第三セクター等改革推進償還基金条例の制定

問 公社から町に対して代物弁済で引き渡された土地は、136筆、47,982㎡（公簿面積）、5億8,750万円（資産評価額）である。売却可能な土地は売却しその代金を基金として積み立て、ある程度まとまれば三セク債の繰上償還に充当すると理解してよいか。

答 その通りである。

■平成25年度一般会計補正予算（第4回）8億1,904万円の増額

問 地域の元気臨時交付金（1億2,960万円）は、どのような事業や使途に使われるのか。

答 地域の活性化のため平成24年度中の内示事業が対象。主なものは焼却施設補修工事（4,042万円）のほか、庁舎耐震事業のための基金への積み立て（3,815万円）。

問 西和消防組合の解散に伴う基金分配金（6,719万円）の扱いは。

答 西和消防組合は、4月から奈良県広域消防組合に移行する。解散に伴い基金が各町に振り分けられ、同額を財政調整基金に積み立てる。財政調整基金の残高は9億8,811万円となる。

問 庁舎耐震補強・改修工事及び太陽光パネル設置工事（総事業費5億4,881万円）の内容は。

答 耐震補強工事（1億5,228万円）、空調改修工事（1億1,772万円）、トイレ全面改修（7,128万円）、外壁改修工事（6,156万円）、エレベーター工事（2,268万円）、太陽光パ

ネル設置工事（1,890万円）などである。

問 庁舎の耐震化工事は、出来るだけ早くやって欲しいが、いつ頃着工できるのか。

答 平成26年6月頃の予定。

問 エレベーターの設置工事で、庁舎本館3階から西庁舎3階に直接行けるよう要望したが。

答 議場があるので、現在検討中である。

問 上牧小学校耐震補強及び大規模改修工事1億8,470万円（業務委託料を含む）が増額計上され、平成26年度への繰越し事業となっているがその理由は。

答 国の第1次補正予算による有利な補助金と有利な起債を活用するとともに、夏休み期間中に工事が出来るように予算措置をした。

問 学校施設の耐震補強と大規模改修事業は、中期財政計画に比べて、全体に予算規模が大きくなっている。今後の計画は。

答 27年度に上牧中学校の工事（4億2,100万円）を予定しており、小中学校のプール改修や下水道接続工事（総額8,260万円）を平成28～平成31年度に計画している。

■特別職の職員で常勤のもの給与及び旅費に関する条例の一部を改正

■上牧町税外収入金にかかる督促手数料及び延滞金に関する条例の一部改正

■上牧町部設置条例の一部を改正する条例

新たな行政課題や住民の多様なニーズに対応するため、総務部に政策調整課を新設し、旧秘書課の業務を担当します。

■上牧町防災会議条例の一部を改正する条例

以上採決の結果、いずれも全委員異議なく可決すべきものと決しました。

■奈良県にリニア中央新幹線を！中間駅の早期決定を求める決議（案）

東委員より、「県内33の市町村長、15人の県議が『中間駅』候補地に大和郡山市を推薦し、ばく大な地元負担を伴う『まちづくり』の開発を進めようとしている。採算性を無視した巨額の公費投入と国民負担が避けられない。いま、都市間の移動時間の短縮よりも、県民の安全・安心な交通手段を確保すること、市町村が運営する『コミュニティバス運行等』への支援が必要。」との反対討論があった。
起立採決の結果、賛成多数で可決すべきものと決しました。

委員会付託しなかつた議案

■監査委員の選任

任期満了に伴い、次の方が選任・同意されました。

篠崎 雄爾さん（再任）
桜ヶ丘3丁目

引き続き平成31年度末まで社会福祉協議会が行います。

文教厚生委員長報告

■上牧町廃棄物の処理及び再利用の促進に関する条例の一部改正

可燃ごみ用の20ℓ袋が新たに作成されます。購入できるのは9月からの予定です。

■平成25年度後期高齢者医療特別会計補正予算（第2回）

平成26年度から保険料は、平均で3.8%の値上げである。保険料の滞納で医療が受けられないことのないよう求める。

■負担の公平性から短期証を5件発行している。

■平成25年度下水道事業特別会計補正予算（第3回）

平成25年度下水道事業の進捗状況はどうか。

梅ヶ丘と服部台地域を予定どおり進めている。国の補助枠の関係で一部が翌年度になる。

他に、下水道条例・水道事業給水条例の一部改正、国民健康保険と水道事業の特別会計補正予算について審議し、全議案異議なく可決しました。

■介護保険見直しに関する意見書（案）

石丸議員より5名の賛成議員と共に提案がありました。内容は、要支援者の訪問介護・通所介護を保険給付とすること、特養ホームの入所は要介護1から5を対象とすることなどを政府と国会に求めるものです。

審議の結果、康村議員より「持続可能な制度にするには、給付の重点化が必要である」との反対討論がありました。

長岡議員より「2025年には65歳以上が3,657万人となり、保険給付の見直しは避けられない」との反対討論がありました。

辻議員・東議員からは「安心して老後を過ごすには、介護施設の拡充・在宅介護の充実・利用者負担の軽減・公費負担の引き上げが必要である」との賛成討論がありました。

起立採決の結果、賛成多数で可決しました。



■公の施設の指定管理者の指定
保健福祉センターの管理は、

平成26年3月 定例会の議決結果

(平成26年3月4日～3月19日)

議 案 名	議決結果	辻 誠一	長岡 照美	堀内 英樹	康村 昌史	石丸 典子	木内 利雄	東 充洋	吉中 隆昭	芳倉 利次	服部 公英	吉川 米義	富木 つや子
◎上牧町部設置条例の一部を改正する条例について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
◎特別職の職員の給与等の特例に関する条例を廃止する条例について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
◎特別職の職員で非常勤のもの給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
◎上牧町税外収入金にかかる督促手数料及び延滞金徴収に関する条例の一部を改正する条例について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
◎上牧町防災会議条例の一部を改正する条例について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
◎上牧町まちづくり基本条例の制定について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
◎上牧町廃棄物の処理及び再利用の促進に関する条例の一部を改正する条例について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
◎上牧町下水道条例の一部を改正する条例について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
◎上牧町水道事業給水条例の一部を改正する条例について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
◎上牧町第三セクター等改革推進債償還基金条例の制定について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
◎平成25年度上牧町一般会計補正予算(第4回)について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
◎平成25年度上牧町国民健康保険特別会計補正予算(第2回)について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
◎平成25年度上牧町後期高齢者医療特別会計補正予算(第2回)について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
◎平成25年度上牧町下水道事業特別会計補正予算(第3回)について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
◎平成25年度上牧町水道事業会計補正予算(第3回)について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
◎平成26年度上牧町一般会計予算について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
◎平成26年度上牧町国民健康保険特別会計予算について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
◎平成26年度上牧町後期高齢者医療特別会計予算について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
◎平成26年度上牧町介護保険特別会計予算について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
◎平成26年度上牧町住宅新築資金等貸付事業特別会計予算について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
◎平成26年度上牧町下水道事業特別会計予算について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
◎平成26年度上牧町水道事業会計予算について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
◎字の区域及び名称の変更について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
◎監査委員の選任について	原案同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
◎公の施設の指定管理者の指定について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
◎介護保険見直しに関する意見書	原案可決	○	●	●	●	○	○	○	●	○	○		
◎奈良県にリニア中央新幹線を！中間駅の早期決定を求める決議	原案可決	○	○	○	○	●	○	●	○	○	○		

議長は採決に加わりません

※議長は採決に加わりません

○賛成 ●反対 ー除斥 ×棄権 空白は欠席

これからの地域福祉 — 参画と協働で助け合いを —



堀内 英樹

- 問** 2025年に上牧町の75歳以上人口は4,600人(人口比23%)になる見込みである。今後の町政運営は地域の支え合いと慎重な財政運営が欠かせないが、どうか。
- 答** 将来的に町税の減少は避けられず、扶助費の予算に占める比重がより大きくなると考えている。身の丈に合った財政運営を行うように町長から指示を受けているところである。
- 問** 社会保障制度国民会議の報告は「すべての世代を給付やサービスの対象とし、すべての世代が年齢でなく、負担能力に応じた負担し、支え合う仕組みとして行くべき」としているが、地域福祉をどう進めるのか。
- 答** 将来予想をするに、それではなかったら介護保険等のすべての社会保障が恐らく成り立たない。上牧町での福祉は、すべての課と職員がこのことについてしっかりと協力し考えて行く。これから作り上げて行く諸計画を、住民の方々にお知らせし参画をして頂く。そのような考え方で地域福祉に取り組み必要がある。



東 充洋

安心して医療が受けられる 地域の確立について

- 問** 急病のため救急車での搬送を要請し、救急車が到着しても救急患者をスムーズに受け入れる医療機関がなく搬送されるまでに長時間を要する事例が起こっており非常に不安との声が寄せられている。早急に住民の不安を払拭するため救急医療体制の改善が求められている。
- 答** 奈良県では、救急患者の診療を断らない制度を確立するために消防・医療関係者で『救急搬送及び医療連絡協議会』で基準・ルールを定め、現在運用されている。
- 問** 私の手元に深夜急病人から救助を求められ、救急車到着から搬送されるまでの70分間の深刻な時系列文書を頂いている。町は救急隊員も搬送先を捜し求めているという現状を把握しているのか。
- 答** 現状把握している。県に一層改善を求めている。
- 問** 深夜、子どもが急病で県立五条病院に搬送された。なぜ三室病院で診療してもらえないのか。との声がある。
- 答** 広域の医師会でも問題になっており小児科医師不足が原因である。県・医師会に打開策を講じるよう広域7町で取り組んでいく。



石丸 典子

町立保育所は存続を

問 来年度から実施される「子ども・子育て支援新制度」では、保育所に入るには、保育認定を受け認定に応じた保育を受けるなどしくみが変わる。

保護者の状況とともに、子どもたちの集団生活を大切にした判断が必要である。保育時間は現行どおり8時間以上に。

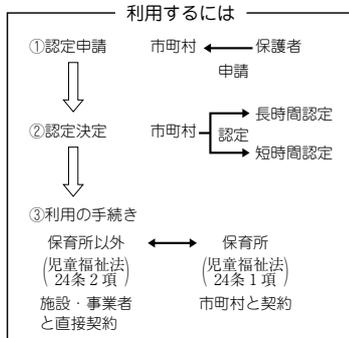
答 一時預かりや小規模保育などの施設もあり、保護者のニーズで充実にできる。

問 町立第一保育所は、「児童福祉法24条一項(市町

村の保育実施を義務規定)に基づいた唯一の公立保育所である。

営利を目的とせず保育を充実させる町立保育所の役割りは今後ますます大きくなる。町立保育所は存続を。

答 0歳児・障害児・病児保育など公的施設でしかできない保育を担っている。



滝川に清流を戻し、 大和川の美化を



辻 誠一

問 ワースト2の大和川はBODの低下で水質は改善されたが、川岸のゴミには目を覆うものがある。一方、上牧町では滝川の水辺の創造計画がある。説明を。

答 町民との協働で、滝川をきれいにし、水辺の空間として利用する事業。

問 滝川内には草が生い茂り、流れを阻害すると共に、ゴミが引っ掛かり、ゴミの不法投棄を誘発している。県へ抜根の要請はどのようか。

答 毎年、浚渫をお願いしているが、限られた予算内での浚渫となっている。

問 下流に網等を設置しゴミ流出対策は。

答 河川管理者に検討を要請する。

問 当面はゴミ掃除の継続が肝要で長い長靴等小道具が必要。
答 必要なものは整備する。

問 町長にお聞きする。他の市町村に情報発信して、大和川にゴミを流さないようにするのはいかがか。
答 王寺町長からも同じようなご指摘があり、協力していきたい。





服部 公英

平成26年度 主要事業について

問 特別職報酬・管理職手当について、政府は25年度中の実施を求めているが公務員給与削減に応じなかった市町村に対し、今年5月に配分予定の公共事業関連の補助金を減らす方針をかためた。この対象の補助金は、25年度補正予算のがんばる地方交付金にあたりますが、今回の上牧町の特別職報酬を元に戻したことにより、本来受け取ることが出来た補助金が減るようなことは無かったのか説明してください。

答 当町の補助金につきましては減額はありませぬ。

問 ペガサスホールの再開について具体的に聞かせてください。

答 経常経費は年間で約1,800万円を見込んでいます。26年度に準備を整え、27年度には再開を考えています。

問 道路整備計画について、服部記念病院のまへの交差点について、交通量が増え、危険度が増しています。早急に信号機を設置して安全を確保していただきたい。町はどのように考えていますか。

答 町としても毎年県に設置要望をしております。引き続き県に要望をしていきます。

がん検診受診率向上に コール・リコール(個別受診勧奨) 制度がスタートします



長岡 照美

問 働く世代の女性を支援するため、乳がんや子宮頸がん検診の対象者に、お知らせの送付や電話などで個別の受診勧奨を実施します。がん検診の受診率は欧米では6〜7割。日本では2〜3割と低い状況の中、国は検診無料クーポン事業を縮小しました。上牧町では無料クーポンを引き続き継続していただけます。受診率向上に向けた取り組みについて伺います。

答 今年度は、検診無料クーポン(子宮頸がん20歳・乳がん40歳)を対象者にアンケート調査と共に送付します。受診しやすい環境整備を整えます。



問 大阪の池田市では電話やハガキなどで個別受診勧奨(コール)と再勧奨(リコール)で受診率が向上しています。日本医科大学の勝俣教授は「コール・リコールを実施すれば確実に受診率が上がるので素晴らしいことです」と言われています。制度として定着させていただきたいと思います。

答 コール・リコールの個別受診勧奨をして受診率向上に取り組みます。



木内 利雄

難しくはない キラリと輝く「まちづくり」

問 町職員発の政策、施策として改善策について伺う。具体的には全職員が行政全般にわたり年間一から二件程度の提言書を作成し、町長に提出を行うというものである。このことはなんら難しいものではない。

職員が日々業務を行っている中で不便に感じていることや不合理なこと、また、住民各位から寄せられる要望や苦情の中に提言のヒントは隠れているものである。それらのことを問題意識として持つことが職員的能力、成長に大きな差が出るものと考えられる。

200人の全職員が常に問題意識を持つことで他の市町村とはひと味違う、キラリと輝くまちづくりが出来るものと確信しているが、町長の見解を伺う。

答 私たち市町村長が参加するサミットの会議でも、突然、名指しで意見を求められる場面が度々ある。そのような時に問題意識を持つていなければ的確な発言、回答は出来ない。

職員一人ひとりが行政全般にわたり問題意識を持つことや住民の視点を知ることとは行政に関わる者として大事なことがある。キラリと輝くまちづくりに向け態勢を整えたい。

議会基本条例より

―第8条について―

議会基本条例は平成25年3月の定例会で議決されました。

その目的は、分かり易く、開かれた議会の運営を行い、併せて議員活動を充実させるためのものであり、全22条からなっています。

今回は、その中より第8条について、ご説明いたします。

これは町が提案する計画、政策、事業などを審議する時に、論点を明確にして、効率良く審議するため、情報の提示を取り決めたもので、以下の項目を挙げています。

1. 政策等を必要とする背景
2. 提案に至るまでの経緯
3. 他の自治体の類似する政策との比較検討
4. 町民参加の実施の有無と内容
5. 総合計画との整合性
6. 財源措置
7. 将来にわたる効果および費用

この1年間で、予算書の説明資料や新規事業計画の説明書等に、これら観点から整理して、記載されるようになりました。また、他の委員会等での説明でも、これらの趣旨が意識され、議論されるようになりました。しかし、まだまだ十分ではありません。

議会は、議会に提出される政策等について、この第8条に則り、十分な審議を尽くし、併せて町民皆様への公開を図ります。



先進的な「地域包括ケアシステム」を視察

議会基本条例に議員研修（公費負担が年5万円以内）が制度化されました。この制度を活用して2月24日（月）広島県尾道市御調町「公立みつぎ総合病院」が推進してきた保健・医療・福祉の連携・統合システム（地域包括ケアシステム）について学びました。

御調町の人口は約7,700人、65歳以上の高齢者数は2,340人、高齢化率は29.5%です。高齢化の進展に



併せて要介護者、特に寝たきり高齢者も年々増え続け、待ったなしの状況でした。

昭和49年病院が核となり「地域包括ケアシステム」の構築を行いました。

御調町は寝たきりの多い町から少ない町へと変わりました。

地域包括医療・ケアシステムとは、治療のみではなく、健康づくりから寝たきり予防（介護予防）まで包括的に取り組むことです。

上牧町でも高齢化が進む中、団塊の世代が75歳以上になる2025年をめどに介護が必要になっても、住み慣れた地域で暮らし続けられる体制の整備を行い、介護・医療・生活支援などを一体で提供する「地域包括ケアシステム」の構築を進めているところです。

議会日誌

- （1月）
- 7日 広報委員会
- 11日 町消防団出初式
- 13日 町成人式
- 16日 広報委員会
- 19日 北葛支部連合出初式
- 22日 北葛郡町議会議長会
- 24日 議会改革検討委員会（第8回）
- 29日 智頭町議会行政視察研修受け入れ
- （2月）
- 12日 西和消防組合議会
- 14日 全員協議会
- 18日 議会改革検討委員会（第9回）
- 20日 葛城地区清掃事務組合議会
- 21日 静香苑環境施設組合議会
- 28日 北葛郡町議会議長会総会
- （3月）
- 4日 第1回定例会（初日）
- 5日 総務建設委員会
- 6日 文教厚生委員会
- 7日 予算特別委員会
- 10日～11日 予算特別委員会
- 17日 一般質問（4名）
- 18日 一般質問（3名）
- 19日 第1回定例会（最終日）
- 24日 広報委員会
- 24日 議会改革検討委員会（第10回）
- 25日 町社会福祉協議会理事會
- 26日 町シルバー人材センター理事會
- 27日 全員協議会
- 27日 王寺周辺広域市町村圏協議会
- 27日 王寺周辺広域市町村圏議長会
- 27日 奈良県町村議会議長会定期総会

編集後記

市民に開かれた議会の実現に向けて、情報公開を積極的にするため、インターネットで議会中継をすることにしました。期待と不安が交差していますが、会議の身を大切にしていきたい。

0745-76-11001
0745-76-11003
広報委員会

委員長 長岡 照美
副委員長 康村 昌史
委員 辻 誠一
委員 堀内 英樹
委員 石丸 典子
委員 服部 公英

5月の臨時会は 5月12日開催予定

・第1回上牧町議会臨時会
平成26年5月12日（月）
午前10時から

・議会運営委員会
平成26年5月8日（木）
午前10時から